

かたの民報

議会版

2010年12月12日
NO. 1518

【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)

議員定数削減は議会の役割低下に 日本共産党は、議員報酬の削減を提案

先週号でお知らせしましたように、12月議会に突如、10人の議員（公明党4人、市民ががやきクラブ4人、会派無所属2人）から、議員定数を17人から15人に2人減らす議員提案が行われました。

削減案は、市議会総務文教常任委員会に付託され、12月2日に審議しました。審議では、「議会改革特別委員会が設置されているが、なぜそこで議論する手続きを踏まないのか」また、「議員定数削減は、大阪府下の市で一番少ない定数となり、議会の機能が弱められる」などの意見が出されました。委員会は、「12月議会の終了後の閉会中に審議を継続すること」を決めました。

日本共産党は、議員定数の削減について、次のように考えています。

第1は、議会の役割です。

地方自治は、市民から直接選ばれる市長と議会の2元代表制をとっています。市長は、行政の長として予算などの執行権をもっています。議会は、予算・行政をチェックする役割と市民の声・要望を行政に届け、その実現をめざす役割をもっています。議員の数が多いほど、多様な意見が出され、議会の役割を高めることができます。

第2は、人口同規模の市との比較です。

大阪府下で、同規模人口の中では、交野の17人が一番少ない数です。大阪府下の市

では、15人の議会はありません。交野市議会は、十分すぎる定数削減をおこなっています。

第3は、財政の問題です。

提出者は、「市の財政が厳しく、議会の定数を削減し、財政健全化に貢献する」と説明しています。平成21年度の財政は、2億7千万円の赤字で、積立金も1億7千万円増やしました。さらに、平成22年度の財政状況も、当初予算と比べて国からの交付税などが7億6千万円増えており、この状況では平成22年度も黒字決算になると予測できます。財政状況も一服状況となっています。仮に「財政が厳しい」との理由であれば、15人、13人とどんどん減らすことになってき

ます。

日本共産党は、①議員報酬が同規模の市と比べ高いので2万円削減、②正副議長は毎年変わる議会内の役割分担であるから報酬は全議員同一に、③議会から派遣されている監査委員、農業委員の報酬は、報酬の2重受け取りであるためにゼロにする、を議案として提出しました。

第4に、市民の声です。

市民の方から「議員の人数を減らすように。議員報酬を減らすべき」との声をいただきます。同時に「議会は何をしているのか見えない」との意見もいただきます。日本共産党は、市民に開かれた議会に改革していく必要があると考えます。まず、議会として市民向けの報告会に取り組み必要があります。

日本共産党は、市民に見える議会をつくり、議会の役割を高め、議員の報酬を削減する立場でのぞんでいます。



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835

■府下人口10万人以下の各市 — 議員定数及び議員報酬

市名	人口(人)	議員定数	議員報酬	議員一人当たりの人口(人)
貝塚市	90,552	20	550,000	4,528
摂津市	82,765	22	535,000	3,762
交野市	79,588	17	570,000	4,682
泉大津市	78,107	18	550,000	4,339
柏原市	73,845	18	550,000	4,103
藤井寺市	66,015	18	520,000	3,668
泉南市	65,235	20	500,000	3,262
高石市	60,059	17	520,000	3,533
阪南市	58,290	16	460,000	3,643
大阪狭山市	57,654	16	475,000	3,603
四条畷市	57,033	16	503,500	3,565



■現在の議員の報酬

議長	655,500円
副議長	603,250円
議員	570,000円
監査委員	35,000円
農業委員	24,000円

「議員定数削減を継続審議にするかどうか」、日本共産党提出の「議員報酬削減」などの案件は、20日の本会議で採決されます。ぜひ傍聴にお越しください。